

佛教研究法一卷

呂澂撰 民國二十四年上海商務印書館排印本 佛學叢書之一

一册 二六·五種

法味一卷

民國十年上海佛學推行社排印本 佛學淺說第一種

一册 二一·四種
印記 中國佛教普濟日災會贈

談因一卷

民國十年上海佛學推行社排印本 佛學淺說第二種

一册 二一·四種
印記 中國佛教普濟日災會贈

釋大勇敬告全國佛教徒文一卷

民國十八年西康甘孜縣札迦寺排印本

一册 二三·七種

宏化特刊第一號一卷

歐浦學人編 民國十一年上海佛學推行社排印本

一册 二五·六種
印記 中國佛教普濟日災會贈

歷史

地理·地誌·紀行

東遊紀略一卷

王揖唐撰 民國二十三年天津大公報社排印本 洋裝本

一册 二六·八種

圖 版 解 說

圖版解説凡例

- ・書名・巻數
- ・編著者名
- ・出版事項
- ・冊數
- ・内題・外題(題簽)
- ・裝訂・大きさ
- ・邊・界・行數(每半葉) 字數(每行) 匡郭内寸
- ・内容・解説

〈圖版一〉

廣西名勝志十卷

(明)曹學佺撰

- 明天啓二年(一六三二)序刊本
- 二冊
- 線裝本 二五・六×十六・二 纏
- 左右雙邊 有界 每半葉十行 每行十九字 白文 白口 單魚尾
- 匡郭内十八・九×十三・三 纏

史部・第十一地理類・十名勝之屬に屬する。

中國南部に位置する廣西(現在は廣西壮族自治区)の名勝地を記述したもの。

〈圖版二〉

金剛般若波羅蜜經三卷

(姚秦)釋鳩摩羅什奉紹譯 (唐)釋慧能解義 (宋)釋道川注

- 寬永九年(一六三二)京都中野小左衛門據康曆二年(一三八〇)京都臨川寺刊本重刊
- 二冊

- 題簽 金剛經注
- 線裝本 二六・八×十七・九纏
- 四周雙邊 無界 每半葉七行 每行十七字 黑口 雙花口魚尾
- 匡郭内二十・〇×十四・九纏

子部・第十三釋家類に屬する。『大藏經』では、般若部に著録されている。金剛般若波羅蜜經の成立年代については、相反する二説があり未だ定説はない。經題のサンスクリット名は、Vajracchedika Prajnaparamitaというが、その意味は「金剛のように煩惱、執着を斷ち切る知恵の完成」であり、その經題の示すとおり本經では、あらゆるものにつて執着してはならない(とらわれてはならない)ことを説いている。

〈圖版三〉

續傳燈錄殘十卷(存卷第一至第十)

(明)釋圓極居頂撰

- 明崇禎八年(一六三五)嘉興府楞嚴寺刊本
- 二册
- 線裝本 二五・九×十七・二纏
- 四周雙邊 有界 每半葉十行 每行二十字 白口 魚尾無

匡郭内二十二・〇×十四・一纏

子部・第十三釋家類に屬する。全三十六卷。

『五燈會元』以後で、大鑑下一〇世首山省念の法嗣汾陽善昭から、大鑑下二〇世靈隱崇岳の法嗣に至る史傳を明らかにしたものを。

〈圖版四〉

大方廣佛華嚴經疏序演義鈔九卷

(唐)釋澄觀撰

- 寛文十三年(一六七三)黃檗山寶藏院釋鐵眼刊本
- 九册
- 線裝本 二六・三×十八・六纏
- 四周單邊 無界 每半葉十一行 每行二十一字 黑單魚尾
- 匡郭内十八・九×十二・四纏

〈圖版五〉

大乘起信論疏四卷附科文一卷

(唐)釋法藏撰 (唐)釋宗密注

- 江戸期黄檗山寶藏院刊本
 - 二册
 - 線裝本 二十八・〇×二十・〇糎
 - 四周雙邊 無界 每半葉十行 每行二十字 白口 魚尾無
- 匡郭内二十三・五×十四・七糎

子部・第十三釋家類に屬する。

圖版四・五の二点は、黄檗版大藏經である。黄檗版大藏經は明の万曆版正藏を底本として覆刻され、一六五〇余部、六九五〇余卷ともいわれている。

黄檗僧鐵眼道光(一六三〇—一八二〇)により行われたこの刻藏事業は、我が國における大藏經刊行の歴史において多大な意義をもつものである。鐵眼は、大藏經を出版するために全国各地で行脚と講經・說法による募緣活動を行い、大名・豪商、あるいは民衆に至る多くの人々からの資金的協力によりこれらの出版を可能にした。また、大量に印刷流布されたため、廣般な人々に閱覽享受を可能にし、これにより佛敎研究の基盤が形成されたといえよう。

卷末の刊記によって、鐵眼の刻藏事業を支えた寄進者をみることができる。

藏書印譜